

問1 中部地方にある、ある県の工業統計を確認すると、製造品出荷額の構成比において化学工業が約16%、食品工業が約14%を占めており、これらが主要な産業となっています。この県に該当する名称を選択してください。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 新潟県 2. 長野県 3. 愛知県 4. 静岡県

問2 静岡県を中心に、京浜工業地帯と中京工業地帯の間に位置する工業地域について、その特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 輸送用機械の割合が極めて高く、オートバイや楽器、自動車関連の工場が数多く立地している。
2. 鉄鋼業や石油化学コンビナートが発達しており、原材料の輸入に便利な臨海部に重化学工業が集中している。
3. 出版・印刷などの都市型工業の割合が高く、かつては日本最大の工業出荷額を誇っていた。
4. 内陸部に高速道路網を活用した工業団地が形成され、近年では医薬品や情報通信機器の製造が伸びている。

問3 ぶどうの生産量が全国1位である県について、その地理的な特徴や農業の様子として最も適切なものはどれか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 内陸県に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである
2. 内陸県に位置し、高冷地でのレタスなどの抑制栽培が盛んである
3. 日本海側に位置し、広大な平野で水田単作が行われている
4. 太平洋側に位置し、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである

問4 静岡県の牧之原などの台地で、古くから稲作ではなく茶の栽培が大規模に行われてきた理由として、地形的・土壌的な特徴から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため
2. 台地は標高が高く冷涼な気候であるため、害虫の被害を受けにくい茶の栽培が選ばれたため
3. 台地は平坦で水を引き込みやすいため、大量の水を必要とする茶の加工に適していたため
4. 台地は火山灰が厚く堆積した栄養分に乏しい土地であり、肥料を必要としない茶が選ばれたため

問5 日本の都道府県別の工業出荷額の内訳において、パルプ・紙・紙加工品の割合が約4.9%を占めており、かつ輸送用機械器具の割合が約25.6%と極めて高くなっている都道府県はどこか。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 静岡県 2. 北海道 3. 愛媛県 4. 愛知県

問6 中部地方にある中部国際空港は、24時間運用が可能な人工島に建設され、国内外の乗り換え拠点としての役割を強化しています。このような空港が「24時間運用」を重視する理由として、最も適切な背景はどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 時差のある世界各地からの便を柔軟に受け入れ、深夜や早朝の乗り継ぎ需要に対応するため
2. 空港周辺の騒音問題を完全に解消し、周辺住民の夜間の移動手段を確保するため
3. 滑走路の点検をすべて日中に行い、夜間は空港内を観光施設として開放するため
4. 大型旅客機の離着陸を禁止し、燃料消費の少ない小型機専用の拠点とするため

問7 中部地方に位置し、海に面していない内陸県である長野県は、日本で最も多い8つの県と隣接しています。これらの隣接する県のうち、関東地方に属する2つの県の県庁所在地名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）

1. 前橋市とさいたま市 2. 宇都宮市と水戸市 3. 甲府市と静岡市 4. 長野市と前橋市

問8 中部地方の各県の特色について述べた次の文のうち、農業生産の統計において米の割合が57.0%と非常に高い県（新潟県など）や、野菜の割合が33.9%に達する県（長野県など）が含まれる地域の、気候と農業の関係の説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 日本海側の平野部では稲作が盛んに行われる一方で、内陸の標高が高い地域では1月の平均気温が氷点下になるような冷涼な気候を活かした野菜栽培が行われている。
2. 太平洋側の温暖な気候を活かして、冬でも温暖な環境で野菜を育てる促成栽培が盛んであり、大消費地である都市部へ向けて出荷されている。
3. 広大な平野部において、大型の機械を導入した効率的な生産体制を整えることで、小麦やてんさいなどの畑作と大規模な酪農が組み合わせられている。
4. 夏に雨が少なく乾燥する気候に適応するため、ため池を多く設置することで農業用水を確保し、古くから米作りと果樹栽培を両立させている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 新潟県	新潟県は日本海沿岸の石油・天然ガス資源を活用した石油化学コンビナートが立地しているため、化学工業の割合が高いのが特徴です。また、日本有数の米どころであることを背景に、米菓や清酒などの食料品工業も全国的に高いシェアを持っています。一方、選択肢にある長野県は電子部品や精密機械、愛知県や静岡県は自動車などの輸送用機械の割合が高いという違いがあります。
問2	答え 1 輸送用機械の割合が極めて高く、オートバイや楽器、自動車関連の工場が数多く立地している。	静岡県を中心とする東海工業地域は、中京工業地帯の影響を強く受け、オートバイや自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業が非常に盛んです。もともと浜松周辺で盛んだった綿織物業の技術が、自動織機からオートバイ、楽器製造へと発展した歴史的背景があります。選択肢にある重化学工業主体の記述は瀬戸内工業地域や京葉工業地域、都市型工業は京浜工業地帯、内陸部の工業団地は北関東工業地域の特徴です。
問3	答え 1 内陸県に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである	ぶどうの生産量が全国1位の県は山梨県である。山梨県は海に面していない内陸県であり、甲府盆地の扇状地など水はけの良い地形を生かして果樹栽培を行っている。「高冷地でのレタス」は同じ内陸県である長野県の特徴であり、誤答として選ばれやすい。「日本海側」は新潟県や山形県など、「太平洋側」は高知県や宮崎県などの特徴である。
問4	答え 1 台地は水はけが良すぎて稲作には不向きだが、茶のような樹木作物の栽培には適しているため	台地は周囲の平地よりも一段高くなっており、水はけが良い（保水力が低い）という特徴があります。そのため、常に水を溜めておく必要がある稲作には適しませんが、水はけの良い土地を好む茶の栽培には非常に適しており、土地利用の工夫として茶園が発展しました。
問5	答え 1 静岡県	静岡県は、富士山の湧水を利用したパルプ・紙・紙加工品製造業と、自動車やオートバイなどの輸送用機械器具製造業のどちらも盛んなことが大きな特徴である。選択肢にある北海道や愛媛県も製紙業が盛んな地域として知られるが、輸送用機械の割合がこれほど高いシェアを占めるのは、オートバイ産業の発祥地や自動車工場の拠点を持つ静岡県ならではの特色である。
問6	答え 1 時差のある世界各地からの便を柔軟に受け入れ、深夜や早朝の乗り継ぎ需要に対応するため	国際的な拠点（ハブ空港）として機能するためには、世界各国の都市との時差を考慮したスケジュール設定が不可欠です。24時間運用が可能であれば、深夜や早朝であっても到着便から別の便へのスムーズな乗り継ぎが可能になり、国際的な競争力が高まります。
問7	答え 1 前橋市とさいたま市	長野県は新潟県、富山県、岐阜県、愛知県、静岡県、山梨県、群馬県、埼玉県との8県と境界を接しています。このうち、関東地方に区分されるのは群馬県と埼玉県です。群馬県の県庁所在地は前橋市、埼玉県の県庁所在地はさいたま市です。山梨県は長野県と同様に中部地方に分類されるため、関東地方の県を問う本問の条件には合致しません。また、長野市は長野県自身の県庁所在地です。
問8	答え 1 日本海側の平野部では稲作が盛んに行われる一方で、内陸の標高が高い地域では1月の平均気温が氷点下になるような冷涼な気候を活かした野菜栽培が行われている。	中部地方は、日本海側の新潟県などで広大な平野と雪解け水を活かした米作りが非常に盛んです。一方で、長野県などの内陸部は標高が高く、冬の気温が氷点下(-0.6度など)になるほど厳しい寒さとなります。この「冷涼な気候」は夏場でも涼しいため、他の地域が暑くて出荷が難しい時期にレタスやキャベツなどの野菜を栽培・出荷する高冷地農業に適しています。